

平成 23 年 度

校 園 別 研 究 目 標

大 阪 市 教 育 委 員 会

目 次

幼 稚 園	1
小 学 校	2
中 学 校	9
高 等 学 校	1 5
特 别 支 援 学 校	2 0

校 園 別 研 究 目 標

「校園別研究目標」は、校種別に各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動などの課題を示したものである。

学習指導に当たっては、幼児・児童・生徒一人一人の実態を的確に把握し、個々の状況に応じた指導・支援を行うために、学習活動、学習形態、評価方法及び教材・教具などを工夫することや、幼児・児童・生徒一人一人が意欲をもって自ら考え、判断し、表現できるような指導方法・指導体制の工夫改善を図り、学び方を身に付け、学ぶ楽しさを実感できる授業の展開に努めることが重要である。

また、小中一貫した教育をはじめとする校種間連携を一層推進するため、全ての教科・領域において、校種間の円滑な接続を図るための研究に努めることが大切である。

◇ 幼 稚 園

(1) 総 合 目 標

自ら環境に働きかけ、主体的に生きる人間の育成をめざす幼稚園教育を推進するために、人間尊重の立場にたち、幼児の発達の特性に応じ、幼児の生活の連続性及び発達や学びの連続性をふまえて、環境を通し、遊びを中心にした総合的な指導により、望ましい人間形成の基礎を培うことについて研究する。更に、一人一人の教育的ニーズを把握し、もてる力を高めるための教育的支援について研究する。

(2) 具 体 的 目 標

- ア **健やかで幸福な生活のための基本的な習慣を養い、心身の調和的発達を図るために、健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を育てる指導のあり方について研究する。**
- イ **家族や身近な人への信頼感を深め、自主、自律及び協同の精神並びに規範意識の芽生えを養うために、人々と親しみ、支え合う集団生活を通して、自立心をはぐくみ、人と関わる力を育てる指導のあり方について研究する。**
- ウ **身近な社会生活、生命及び自然に対する興味を養い、それらに対する理解と態度及び思考力の芽生えを養うために、周囲のさまざまな環境に好奇心や探究心をもってかかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を育てる指導のあり方について研究する。**
- エ **日常生活の中で言葉への興味や関心を育て、言葉の使い方を正しく導くとともに、相手の話を理解しようとする態度を養うために、経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話を聞こうとする意欲を育て、言葉に対する感覚を豊かにする指導のあり方について研究する。**
- オ **多様な体験の中で、豊かな感性と表現力の芽生えを養うために、感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、創造性を豊かにする指導のあり方について研究する。**

◇ 小 学 校

(1) 国 語

- ア **基礎的な知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力の育成を図るために**、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」及び「読むこと」の各領域において、日常生活に必要とされるさまざまな言語活動を通して国語の能力を身に付けることができる指導方法について研究する。
- イ **個に応じた学習指導のあり方を工夫するために**、児童が身に付けた知識及び技能などを活用して課題を探究することのできる学習形態や指導方法について研究する。
- ウ **伝統的な言語文化に親しむ態度や国語の特質を理解する能力を育てるために**、伝統的な言語文化に関する教材を取りあげるとともに、児童の実態に即した言語活動を通して、言葉や文字に関する事項の定着を図る指導方法について研究する。
- エ **児童の学習の達成状況を的確に評価するために**、一人一人のよさを認め、それを生かす指導計画、評価方法について研究する。

(2) 社 会

- ア **基礎的な知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力の育成を図るために**、児童が社会とつながる教材、とりわけ人間の働きや知恵に学ぶことができる教材の開発、集団で話し合い考えを深めるなど指導方法の工夫を行うとともに、問題解決的な学習を一層充実させることを通して、各種の資料を多面的に読み取り活用する力、自らの考えを適切に表現する力を高める指導のあり方について研究する。
- イ **よりよい社会を実現しようと、学びを生かし、実践する力を高めるために**、学習の基盤となる知識や概念、技能の習得を重視するとともに、それらを活用し、よりよい社会の形成に参画する資質や能力を培うことをめざす指導計画や指導方法について研究する。
- ウ **児童一人一人の学習状況を的確に把握し評価するために**、学習指導の改善に生かす評価計画や評価方法について研究する。

(3) 算 数

- ア **基礎的な知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力の育成を図るために**、算数的活動の一層の充実を図るようにし、自分で工夫して問題を解決したり、新しい考え方や処理の仕方を生み出したりすることができる指導のあり方について研究する。
- イ **個に応じた学習指導のあり方を一層充実するために**、基礎・基本の確実な定着を図り、児童の学習状況に応じて、補充的な学習や発展的な学習を行うなど、習熟の程度に応じた効果的な指導方法について研究する。

ウ **児童の学習状況を適切に評価するために、目標に準拠した評価を一層重視し、児童の学習状況を的確に把握して、学習指導の改善に生かされるよう評価規準や評価方法について研究する。**

(4) 理 科

ア **基礎的な知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力の育成を図るために、理科を学ぶことの意義や有用性を実感させ、問題解決の学習において、科学的な体験や自然体験を重視した創意ある指導方法について研究する。**

イ **個に応じた学習指導のあり方を一層充実するために、児童一人一人の発想を生かした習得・活用・探求の学習活動が展開できる指導方法や指導体制のあり方について研究する。**

ウ **児童の学習の達成状況を的確に評価するために、目標に準拠した観点別評価を一層重視し、学習指導の改善に生かす評価のあり方について研究する。**

(5) 生 活

ア **思考力、判断力、表現力の育成を図るために、具体的な活動を一層重視し、体験を通して身近な人々、社会及び自然とのかかわりを深めるとともに、気付いたことをもとに考えさせるための多様な学習活動の工夫について研究する。**

イ **個に応じた学習指導のあり方を工夫するために、一人一人の興味・関心や活動での気付きを高める手だてや支援のあり方について研究する。**

ウ **教科学習への円滑な移行や幼児教育との連携を図るために、単元構成のあり方や多様な学習活動、支援のあり方について研究する。**

エ **児童の学習の達成状況を的確に評価するために、単元目標を明確化するとともに、児童の活動や体験そのものを多面的に評価する資料の収集、児童の成長をとらえる評価のあり方について研究を深める。**

(6) 音 楽

ア **音楽的な感性と、表現や鑑賞の力の育成を図るために、音楽に対する興味・関心を高め、意欲的に音楽活動を展開できるような題材・教材の工夫と開発、楽しく効果的な指導の工夫などについて研究する。**

イ **一人一人の思いを生かした学習指導のあり方を工夫するために、音楽を特徴づけている要素である【共通事項】に示された指導事項を常に念頭に置き、思いや意図をもって表現したり鑑賞したりすることができるような指導方法を研究する。**

ウ **児童の学習の達成状況を的確に把握するために、一人一人のよさを認め、それを生かす指導計画、題材、評価規準や評価の具体的な方法について研究する。**

(7) 図画工作

- ア **造形表現における基礎的な能力の育成を図るために**、感性を働かせながら表現活動に取り組む態度を養い、発想や構想の能力、創造的な技能、鑑賞の能力を高める指導と評価のあり方について研究する。
- イ **個に応じた学習指導の充実を図るために**、一人一人の豊かな発想を促し、もてる力を十分に働かせ、つくりだす喜びを味わうことのできる題材や指導方法の工夫について研究する。
- ウ **児童の学習の達成状況を的確に把握するために**、一人一人のよさや可能性をとらえ、それらを生かすことのできる題材、指導計画、評価のあり方について研究する。

(8) 家庭

- ア **基礎的な知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力の育成を図るために**、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識と技能を身に付けるとともに、家庭生活を大切にする心情をはぐくむ指導のあり方について研究する。
- イ **個に応じた学習指導のあり方を工夫するために**、家庭との連携を図り、児童が身に付けた知識及び技能などを日常生活に活用して生活をよりよくしようと工夫する能力と、進んで実践しようとする態度を育てる指導のあり方について研究する。
- ウ **児童の学習の達成状況を的確に評価するために**、目標に照らしてその実現状況を把握し学習指導の改善に生かすための評価のあり方について研究する。

(9) 体育

- ア **運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるために**、児童の能力、適正、興味、関心に応じた運動の楽しさや喜びを味わわせるとともに、考えたり工夫したりしながら自ら課題を解決しようとする児童を育てる指導のあり方について研究する。
- イ **個に応じた学習指導のあり方を工夫するために**、自己の体力や体の状態を把握し、自ら体力を高める実践力を育成する指導のあり方について研究する。
- ウ **児童の学習の達成状況を的確に把握しよさを伸ばすために**、「技能」「態度」「思考・判断」の観点から具体的な評価規準を作成するとともに、評価の方法や支援のあり方について工夫する。

(10) 道徳

- ア **「人間尊重の精神」と「生命に対する畏敬の念」を基盤として、児童の道徳性を育成するために**、
 - ・ 道徳教育の全体計画では、道徳教育の要としての道徳の時間の役割と重要性をふまえつつ、教育活動全体を通じて行う道徳教育との関連を生かした指導の充実を図るとともに、計画そのものに具体性をもたせ、児童の内面に根ざした道徳性を育てる指導を更に深化

させ、道徳的実践に生かす道徳教育のあり方について研究する。

イ 児童が道徳的価値の自覚を深める道徳の時間の指導を創造するために、

- ・ 道徳の時間の年間指導計画では、いずれの学年でも内容項目を全て取りあげて計画的に位置付けながら、児童の発達段階を考慮して重点化を図るとともに、多様な指導方法について研究する。
- ・ 道徳の時間の授業を公開するなど、学校と家庭や地域社会とが共通理解を深め、相互の連携を生かした指導の工夫や児童の心に響く教材の開発・活用などについて研究する。

(11) 外国語活動

ア コミュニケーション能力の素地を育成するために、体験的な活動の効果的な取り入れ方や意欲を高めるための指導計画の作成、「英語ノート」の活用の仕方について研究する。

イ 個に応じた学習活動のあり方を工夫するために、一人一人の興味・関心や活動における気付きを高める視聴覚教材・機器の活用や支援のあり方について研究する。

ウ 中学校への円滑な移行を図るために、小学校で培ったコミュニケーション能力の素地を生かすよう中学校との連携のあり方について研究する。

エ 児童の学習の達成状況を的確に評価するために、評価の観点を明確にするとともに、児童の活動や体験そのものを多面的に評価する資料の収集、児童の成長をとらえる評価のあり方について研究する。

(12) 総合的な学習の時間

ア 思考力、判断力、表現力の育成を図るために、各教科・領域等で身に付けた基礎的・基本的な知識や技能を相互に関連付けながら、他者と協同して問題を解決しようとする学習活動や、言語により分析し、まとめたり表現したりするなどの学習活動が展開できるように研究する。

イ 個に応じた学習指導のあり方を工夫するために、体験的な学習や問題解決的な学習・探究的な学習の導入、グループ学習や異年齢集団による学習などの学習形態の工夫、地域の人々や専門的知識を有する人々などの協力を得た指導体制の工夫などについて研究する。

ウ 創意工夫ある学習活動が展開できるようにするために、地域や学校、児童の実態などに応じて、教科・領域等の枠を超えた横断的・総合的な学習や探究的な学習、児童の興味・関心等に基づく学習など、地域の教材やさまざまな学習環境を積極的に活用した学習活動のあり方を研究する。

エ 児童の学習の達成状況を適切に評価するために、学校における全教育活動との関連において、目標及び内容、育てようとする資質や能力及び態度、学習活動、指導方法や指導体制、学習の評価の計画を示すなど、総合的な学習の時間の全体計画及び年間指導計画の作成について研究する。

(13) 学級活動

ア 望ましい人間関係や社会性をはぐくみ、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育成するために、学校や学級、児童の実態及び発達段階や学年の課題に応じて指導内容の重点化を図るとともに、多様な活動内容や指導のあり方について研究する。

イ 学級を単位として、学級や学校の生活の充実と向上を図り、意欲的に実践する力を育成するために、学級や学校の生活づくり、日常の生活や学習への適応及び、健康安全についての話し合い活動を重視した効果的な指導のあり方を研究する。

(14) 児童会活動

ア 望ましい人間関係や社会性をはぐくみ、集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てるために、異年齢集団による児童会活動を通して、全校児童のつながりを深める活動内容や指導のあり方について研究する。

イ 児童会活動を通して、学校生活の充実と向上をめざして意欲的に実践する力を育てるために、全校児童の発意・発想を生かした実践活動に結びつく話し合い活動の指導のあり方について研究する。

(15) クラブ活動

ア 望ましい人間関係や社会性をはぐくみ、実践的な態度を育てるクラブ活動を推進するために、異年齢集団活動の交流を深め、共通の興味・関心を追求する活動内容や指導方法について研究する。

イ 集団の一員としてよりよいクラブづくりに参画しようとする自主的、実践的な態度を育成するために、互いに認め合い、協力し合い、助け合いながら、個性の伸長を図り、満足感や成就感を味わうクラブ活動の指導のあり方について研究する。

(16) 学校行事

ア 集団への所属感や連帯意識を深めつつ、望ましい人間関係を形成し、豊かな人間性や社会性を育てる学校行事を推進するために、行事間及び他の教育活動と有機的な関連をもたせた活動内容や指導方法について研究する。

イ 公共の精神を養い、よりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるために、異年齢集団での交流や地域の人々とのかかわり、自然・文化とのふれあい、ボランティア活動などの望ましい集団活動や感動的な体験活動を通して個性の伸長を図る効果的な指導のあり方について研究する。

(17) 特別支援教育

ア 児童の自立への可能性を最大限に伸ばすために、学校の教育活動全体を通じて、共に育ち共に学びあう交流を進め、児童の経験を広め、社会性を養い、好ましい人間関係を育てる効果的な指導支援の方法について研究する。

イ **個に応じた指導・支援のあり方を工夫するために**、支援を必要とする児童の実態把握に努め、「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作成し、一人一人のニーズに応じた具体的な指導、支援方法について研究する。

ウ **児童の実態を的確に把握し、支援を充実するために**、校内での支援体制の整備や特別支援学校のセンター的機能の活用、関係機関との連携のあり方などについて研究する。

(18) 保健教育

ア **基礎的な知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力の育成を図るために**、心身の健全な発達と健康の保持増進に関する基礎的・基本的事項の主体的な理解を図り、心身の健康の問題を自分で判断し、改善できる資質や能力・実践的な態度を育てる指導方法について研究する。

イ **個に応じた学習指導のあり方を工夫するために**、家庭との連携を図り、児童が身に付けた知識や技能などを日常生活に活用する実践的な態度を育てる指導のあり方について研究する。

ウ **児童の学習の達成状況を的確に評価するために**、一人一人のよさを認め、それを生かす指導計画、題材、評価のあり方について研究する。

(19) 学校給食

ア **生涯を通じて健康で活力ある生活を送るための基礎を培うために**、学校の教育活動全体を通じた食に関する指導や学校給食を活用した効果的な指導について研究する。

イ **個に応じた指導のあり方を工夫するために**、一人一人の実態に即して、望ましい食習慣の形成に向けた支援のあり方について研究する。

(20) 生活指導

ア **児童理解を基盤とした生活指導を推進するために**、「いじめ」「不登校」をはじめ、生活指導上の諸問題について、人間尊重の教育を一層推進する観点から児童理解に努めるとともに、教育全体に関わる基本的な問題として正しく受けとめ、全ての教育活動の中で機能する生活指導のあり方と家庭・地域・関係諸機関との連携について研究する。

イ **一人一人の児童を生かした集団の育成を図るために**、児童の生活背景を正しく把握したうえで、児童の願い、悩み、不安を単に個人の課題としてではなく、所属する集団の全ての児童が自らの課題として正しく受けとめ、課題解決に向けて、主体的・創造的に働きかけることのできる集団を育成する指導のあり方について研究する。

ウ **幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校の連携に基づく生活指導体制を確立するために**、保護者や地域社会の願いを正しく受けとめ、幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校相互の連携を密にし、一人一人の児童の成長・発達に即した一貫性のある効果的な指導のあり方について研究する。

(21) 学校図書館教育

- ア **生涯にわたって読書に親しむ資質や能力を育成するために、読書を通して豊かな感性や情操をはぐくむとともに、国語科に限らず各教科・領域等における指導との関連を図った読書指導のあり方について研究する。**
- イ **学校図書館を計画的に活用し、自ら学ぶ態度の育成を図るために、図書資料をはじめとする多様なメディアを生かした情報・資料を収集・選択・活用する能力を育成し、主体的な学習活動を支援する学習・情報センターとしての学校図書館のあり方と指導方法について研究する。**

(22) 視聴覚教育

- ア **基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るために、ICT（コンピュータや情報通信ネットワーク、映像メディアなど）の活用方法について、特に、メディアの特性をふまえて、手段の有効性や目的について研究する。**
- イ **情報社会での望ましい態度を育成するために、情報に関わるルールやマナーなど、情報モラルの指導のあり方について研究する。**

(23) 新聞教育

- ア **新聞教育における基礎的な知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力等の情報活用能力の育成を図るために、集団による新聞づくりや新聞の活用を通して、創造性や連帯感を培うとともに、多くの情報から必要な情報を活用し、学級や学校の諸問題を解決していこうとする態度や能力を育てる指導のあり方について研究する。**
- イ **個に応じた学習指導のあり方を工夫するために、一人一人の興味・関心や表現の工夫についての支援のあり方について研究する。**
- ウ **教科学習への円滑な移行を図るために、児童が身に付けた知識及び技能を効果的に各教科・領域等で生かすことができるよう、新聞教育の位置付けと新聞を生かした指導について研究する。**
- エ **児童の学習の達成状況を的確に評価するために、児童一人一人のよさを認め、それを生かす指導計画、題材、評価のあり方について研究する。**

◇ 中学校

(1) 国語

- ア **基礎的な知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力の育成を図るために**、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」及び「読むこと」の各領域の特性を生かしながら、社会生活に必要なとされる多様な言語活動を通して国語の能力を身に付ける指導方法について研究する。
- イ **個に応じた学習指導のあり方を工夫するために**、小・中学校の9年間を見通した学習の系統性を重視し、生徒の実態及び習熟の程度に応じた指導方法について研究する。
- ウ **伝統的な言語文化に親しむ態度や国語の特質を理解する力を育てるために**、古典に親しむ態度を育成する指導方法、生活に役立つ書写の指導方法について研究する。
- エ **生徒の学習の達成状況を的確に評価するために**、指導と評価の一体化をめざした評価計画、指導内容や生徒の特性に応じた評価の場面や方法について研究する。

(2) 社会

- ア **基礎的な知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力の育成を図るために**、学習内容を厳選して構成するとともに、その範囲や程度に十分配慮しつつ事項を再構成するなどの工夫をして、適切な課題を設けて行う学習について研究する。
- イ **個に応じた学習指導のあり方を工夫するために**、学校や生徒の実態に応じ、個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導、生徒の興味・関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導、教師間の協力的な指導など、生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう指導方法や指導体制の改善について研究する。
- ウ **生徒の学習の達成状況を的確に評価するために**、「社会的事象への関心・意欲・態度」「社会的な思考・判断・表現」「資料活用の技能」「社会的事象についての知識・理解」の4つの観点に立って、総合的にとらえる評価のあり方について研究する。

(3) 数学

- ア **基礎的な知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力の育成を図るために**、生徒が目的意識をもって主体的に取り組む「数学的活動」の充実を図り、「言語活動」や「体験活動」を重視した指導のあり方について研究する。
- イ **個に応じた学習指導のあり方を工夫するために**、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得させる指導を展開する中で、学習内容の習熟の程度に応じた指導や生徒の興味・関心などに応じた課題学習を取り入れた指導方法について研究する。

ウ **生徒の学習の達成状況を的確に評価するために**、指導内容や生徒の特性に応じた評価の場面や方法について研究する。

(4) 理 科

ア **基礎的な知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力の育成のために**、科学に関する基本的概念の一層の定着を図るとともに、自然の事物・現象の中に自ら問題を見だし、目的意識をもって観察・実験を行い、結果を分析・解釈し表現するなどの科学的に探究する学習のあり方について研究する。

イ **個に応じた指導のあり方を工夫するために**、科学を学ぶ意義や有用性を実感させ科学への関心を高めるとともに、生徒の興味・関心に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導など、指導方法の改善について研究する。

ウ **生徒の学習の達成状況を的確に評価するために**、小学校との接続に配慮し、科学の基本的な見方や概念を柱として内容を構成するとともに、目標に準拠した評価のあり方など指導と評価の一体化について研究する。

(5) 音 楽

ア **基礎的な知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力の育成を図るために**、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、豊かな音楽体験を積み重ね、音楽を愛好する心情を育て、音楽に対する感性を豊かにする指導方法について研究する。

イ **個に応じた学習指導のあり方を工夫するために**、題材目標の設定や教材の工夫・開発を行うとともに、生徒一人一人のよさや可能性を生かした評価のあり方について研究する。

ウ **音楽文化について理解を深め、豊かな情操を養うために**、学校・保護者・地域・校区小学校と連携し、多様な活動場面を通して、音や音楽への興味・関心を培い、創意工夫して表現し、主体的に鑑賞する能力を育てる指導方法について研究する。

(6) 美 術

ア **基礎的な知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力の育成を図るために**、一人一人の生徒が自ら確実に身に付けていくことができるよう適切な指導をするとともに、表現教材の開発や理解を深めるための多面的な鑑賞指導及び4観点をもとにした効果的な評価のあり方や教材の開発について研究する。

イ **個に応じた学習指導のあり方を工夫するために**、学習内容の調和のとれた指導計画の作成、生徒の実態に応じた題材の設定、美術作品や文化の紹介をするとともに学習環境の整備と指導方法について研究する。

ウ **美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養うために**、行事との関連や大阪の教育資源の活用、我が国の美術文化をはじめとして、諸外国の美術や表現との出会い、学校・保護者・地域・校区小学校などとの連携など多様な活動場면을研究する。

(7) 保健体育

- ア **基礎的な知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力の育成を図るために**、発達の段階や運動の特性・魅力に応じて、自らの運動の課題を解決するなどの学習を行うとともに、運動に関わる一般原則や運動に伴う事故の防止、健康・安全について科学的に理解できるよう指導のあり方について研究する。
- イ **個に応じた学習指導のあり方を工夫するために**、生徒一人一人の体力や体の状態を把握したうえで、体力の向上を図る能力を育て、心身の調和的発達が図れるよう運動の計画を立てさせる。また、個人生活における健康・安全に関する理解が図れるよう研究する。
- ウ **生徒の学習の達成状況を的確に評価するために**、具体的に設定する評価規準、評価方法及び評価時期等について研究する。

(8) 技術・家庭

- ア **基礎的な知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力の育成を図るために**、社会の変化や新たな課題に主体的に対応しながら実践的・体験的な学習活動を通して、家族と家庭生活の役割、それに必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得を図る。また、それらを活用して課題を解決するため、工夫し創造する能力と実践的な態度を育成するとともに、他教科等との連携を図り、各分野の指導内容と指導のあり方について研究する。
- イ **個に応じた学習指導のあり方を工夫するために**、ものづくりや衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生徒の興味・関心や発達の段階に応じた効果的な題材の開発と指導のあり方について研究する。
- ウ **生徒の学習の達成状況を的確に評価するために**、指導方法の改善と工夫を図り、指導と評価の一体化など、評価のあり方について研究する。
- エ **小学校の指導内容との円滑な接続を考慮するとともに、生徒一人一人が健康でたくましく生きるために**、食生活の自立をめざした指導内容と指導のあり方について研究する。

(9) 外国語

- ア **英語の基礎的な知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力の育成を図るために**、指導内容や指導法の工夫改善を行い、英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育て、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」のコミュニケーション能力を統合的に養う学習のあり方について研究する。
- イ **個に応じた指導のあり方を工夫するために**、生徒の実態に応じ、既習の学習内容を繰り返し指導し学習の深まりをめざす指導のあり方について研究する。
- ウ **生徒の学習の達成状況を的確に評価するために**、生徒一人一人の成果を確認し、指導に生かして、確実に生徒の力を伸ばしていくとともに、生徒自身が改善の努力目標をもち、自己評価能力を育て、自力で学ぶ力を育成していく評価のあり方を研究する。

エ **小学校における外国語活動との関連を図るために**、小学校における外国語（英語）活動を通じて培われた一定の素地をふまえながら、中学校での英語教育への円滑な接続が実施できるよう小学校との連携のあり方を研究する。

(10) 道 徳

ア **人間尊重の精神を更に深化させ、生徒の内面に根ざした道徳性を育成するために**、

- ・ 道徳教育の全体計画では、道徳教育の要としての道徳の時間の役割と重要性をふまえつつ、教育活動全体を通じて行う道徳教育との関連を生かした指導の充実とともに、計画そのものに具体性をもたせ、教育活動全体において生徒の内面に根ざした道徳性を育てる指導の充実を図るとともに、道徳的実践につながる道徳教育のあり方について研究する。

イ **生徒が主体的に道徳的価値の自覚を深める道徳の時間の指導を創造するために**、

- ・ 道徳の時間の年間指導計画では、いずれの学年でも内容項目を全て取りあげて計画的に位置付けながら、生徒の発達を考慮して重点化を図るとともに、より効果的で多様な指導方法、資料などについて研究する。
- ・ 道徳の時間の授業を公開するなど、学校と家庭、地域社会とが共通理解を深め、相互の連携を図りながら、「職場体験活動」などの体験活動を生かした指導の工夫や生徒の心に響く教材の開発・活用などについて研究する。

(11) 総合的な学習の時間

ア **自ら問題を解決していく資質や能力を育て、自己の生き方を考えることができるようにするために**、横断的・総合的な課題（例えば、人権、平和、国際理解、情報、環境、福祉・健康など）や生徒の興味・関心に基づく課題、地域や学校の特色に応じた課題などについて、内容設定の目標や各教科等の学習との関連などの全体計画を明らかにし、学校の実態に応じて創意工夫された探求的な学習活動が展開できるよう研究する。

イ **生徒の学習意欲をより高め、主体的・協同的に取り組む学習態度を育てるために**、体験的な学習や問題解決的な学習の積極的な導入、グループ学習や異年齢集団による学習などの多様な学習形態の工夫、校区小学校との内容連携や地域の人々の協力を得た指導体制の工夫、地域の教材の活用、評価のあり方などについて研究する。

(12) 特別活動

ア **学級活動においては、望ましい人間関係を形成するために**、話し合い活動を活発にするさまざまな工夫と実践、人間関係を円滑にし、高めていくための社会的スキルを学ぶ活動などについて研究する。

イ **生徒会活動においては、集団や社会の一員として協力して諸問題を解決しようとする自主的・実践的な態度を育てるために**、学校生活の身近な問題を取りあげ、生徒全員の問題として、その解決を図るような主体的な活動を研究する。

ウ **教育効果を高める学校行事の指導計画を作成するために**、学級活動や生徒会活動の指導、また、各教科、道徳、総合的な学習の時間などの指導、更に、小学校における特別活動の指導との有機的な関連を図る学校行事の充実について研究する。

(13) 特別支援教育

- ア **生徒の自立への可能性を最大限に伸ばすために**、学校の教育活動全体を通じて、共に育ち共に学びあう交流を進めるうえで、効果的な指導支援のあり方について研究する。
- イ **個に応じた指導・支援のあり方を工夫するために**、支援を必要とする生徒の実態把握に努め、「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作成し、一人一人のニーズに応じた具体的な指導、支援方法について研究する。
- ウ **生徒の実態を的確に把握し、支援を充実するために**、校内での支援体制の整備や特別支援学校のセンター的機能の活用、関係機関との連携のあり方などについて研究する。

(14) 保健教育

- ア **心豊かに生きようとする力を養うために**、生徒の一人一人が自己肯定感をもち、よりよい人間関係の構築が図れるよう、学校・家庭・関係諸機関との効果的な相互連携のあり方や、健康相談活動（ヘルスカウンセリング）について研究する。
- イ **健康に対する関心を高め、科学的な理解を通して適切に対応できる資質や能力を養うために**、保健指導や保健学習、総合的な学習の時間などを活用し、健康教育の充実と指導方法について研究する。
- ウ **生徒が安全に学校生活を送るために**、学校管理下での災害の予防の方法と、短期的・長期的展望による活動や対応の方法、及び生徒の心のケアについて研究する。

(15) 生活指導

- ア **生徒理解を基盤とした生活指導を推進するために**、「いじめ」「不登校」をはじめとする生活指導上の諸問題について、人間尊重の教育を一層推進する観点から生徒理解に努めるとともに、教育全体に関わる基本的な問題として正しく受けとめ、全ての教育活動の中で機能する生活指導のあり方と家庭・地域・関係諸機関との連携について研究する。
- イ **一人一人の生徒を生かした集団の育成を図るために**、生徒の生活背景を正しく把握したうえで、生徒の願い、悩み、不安を単に個人の課題としてではなく、所属する集団の全ての生徒が自らの課題として正しく受けとめ、自主的に判断し、課題解決に向けて、主体的・創造的に働きかけることのできる集団を育成する指導のあり方について研究する。
- ウ **小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の連携に基づく生活指導体制を確立するために**、保護者や地域社会の願いを正しく受けとめ、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校相互の連携を密にし、一人一人の生徒の成長・発達に即した一貫性のある効果的な指導のあり方について研究する。

(16) 学校図書館教育

- ア **学校図書館を読書センターとして、豊かな感性を育成する読書の習慣を付けるために**、読書に親しむ態度を育て、日常生活における読書活動を活発にする方法について研究する。

イ **学校図書館を学習・情報センターとして生徒が主体的に活用できるようにするために、**各教科との連携を密にし、資料や情報の収集・選択・活用能力を育成する学校図書館の運営のあり方と指導方法について研究する。

(17) 視聴覚教育

基礎的な知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力の育成のために、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動などの指導において、視聴覚教材・教育機器を活用するとともに、視聴覚教材・放送教材・教育機器の特性を生かした利用方法などについて研究する。

(18) 進路指導

ア **生徒が自らの個性を伸ばし、自己の生き方を考え、将来に対する目的意識をもって主体的に進路選択ができるようにするために、**進路指導の目標を明確にし、生涯にわたる自己実現を図る系統的な指導内容、3年間を見通した指導計画などについて研究する。

イ **進路について目的意識を高めるために、**進路に関わる体験活動、進路情報・資料を活用した学級活動や進路相談との関連を図り、ガイダンス機能の充実について研究する。

ウ **社会の一員としてのあり方や勤労観・職業観を育成するために、**生徒一人一人が、将来の働き方・生き方を主体的に考え行動できるよう、「育成すべき能力」「達成すべき基準」を示しつつ、実社会で働く人々からの支援や、地域社会と連携した指導方法など、系統的なキャリア教育の進め方について研究する。

(19) 情報教育

情報教育の深化・充実を図るために、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動などの目標や内容をふまえ、情報社会に対応した教育機器を利用しながら、自ら課題を明確にし、解決する能力や態度を育てる指導方法について研究する。

(20) 新聞教育

ア **基礎的な知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力の育成を図るために、**言語に対する関心や理解を深め、言語に関する能力の育成を図るうえで必要な言語環境を整え、生徒の言語活動の充実を図る方策について研究する。その際、新聞を情報の収集・摂取の有力な言語環境として、各教科で新聞の情報摂取から情報創造、情報伝達の指導過程を組織する。

イ **個に応じた学習指導のあり方を工夫するために、**学校や生徒の実態に応じ、個別指導やグループ別指導、生徒の興味・関心等に応じた課題学習、教師間の協力的な指導など指導方法や指導体制について研究する。

ウ **生徒の学習の達成状況を的確に評価するために、**指導の成果だけでなく、指導の過程における学習に対する努力や意欲などを総合的にとらえる評価のあり方を研究する。

◇ 高等学校

(1) 国 語

- ア 「国語表現Ⅰ」を通して適切に話したり書いたりする力など社会生活に生かすことのできる言語能力を育成するために、思考力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現する力を高めるとともに、表現活動についての自己評価、相互評価が行われるための指導法について研究する。
- イ 総合的な国語力を高めるために、国語の表現の特色や語句、語彙などを理解し、適切に表現する能力や伝え合う力を身に付けさせるとともに、言語文化に対する関心を高め、国語を尊重してその向上を図るための指導法について研究する。

(2) 地 理 歴 史

- ア 中学校社会科及び公民科との関連に留意し、民主的、平和的な国家・社会の一員としての自覚と資質を養うために、生徒の主体的な追究を通して、地理や歴史の認識を深めるとともに、教材の検討と精選について研究する。
- イ 視聴覚教材や身近な諸資料の効果的な活用を図るために、生徒の興味と関心に基づいて、自主的・自発的な学習意欲を高め、科学的・合理的・総合的な思考力を養う指導法について研究する。

(3) 公 民

- ア 人間としての在り方生き方についての自覚を育て、公民としての資質を養うための効果的な指導を進めるために、中学校社会科及び地理歴史科との関連に留意するとともに、人権尊重の観点から教材を検討し、学習内容の深化と精選について研究する。
- イ 現代の社会を主体的に生きるために、情報の収集や判断を通して、情報化社会の特質について理解させるとともに、情報に対する責任感を養うなど情報活用能力を育成する指導法について研究する。

(4) 数 学

- ア 数学的活動を通して創造性の基礎を培うために、身近な事象を取りあげ、それを数学化し、数学的な課題を設定する活動など、効果的な指導法について研究する。
- イ 個に応じた数学の指導を進めるために、生徒の学習意欲を高め、基礎的・基本的事項を十分理解させるとともに、評価方法について研究する。

(5) 理 科

- ア 生徒一人一人の個性を生かし、生徒の学習意欲を高め、生徒が主体的に問題解決する能力や態度を育てるために、各科目の特質に応じ、基本的な概念を理解させるとともに、生徒の科学に対する興味・関心を高め、主体的に参加する授業や課題研究などにおける学習内容及び指導法について研究する。

イ **自然に対する関心・意欲を高め、科学的に探究する能力や科学的な自然観を育てるために、**実験・観察や探究活動を重視した指導計画を立て、教材の開発や効果的な指導法について研究する。

(6) 保健体育

ア **生徒の体力の向上を図るとともに、生涯を通して継続的に運動ができる能力と態度を育てるために、**

- ・ 学校の実態に応じて、体育の領域及び内容(運動種目など)をどのように選択し、指導すればよいかを研究する。
- ・ 個に応じた指導法を研究する。

イ **健康・安全に関する基礎的・基本的事項を理解させ、生徒が発達段階に応じて自主的に健康な生活を実践できる能力と態度を育てるために、**日常生活に結びつく実験・実習や調査活動など多様な学習活動が展開できる保健学習のあり方について研究する。

(7) 芸術

ア **芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるために、**生徒の個性・主体性を重視し、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力(芸術の諸能力)を伸ばし、豊かな情操を養うことができるよう、指導法や評価のあり方について研究する。

イ **調和のとれた発達をめざすために、**芸術科各科目相互の関連及び小学校・中学校での指導内容との関連を図った指導計画の工夫・改善について研究する。

(8) 外国語

ア **個々の生徒の実態をふまえた学習指導を進めるために、**生徒の興味・関心・意欲などの多様化の中で、言語活動の基礎を養い、特に実践的コミュニケーション能力の育成を図るためには、どのような教材で、どのように指導すればよいかについて研究する。

イ **生徒自らも絶えず自己評価でき、その意欲を高めるために、**生徒が自ら学習目標を立て、学習過程・到達の程度がわかる指導法について研究する。

ウ **コミュニケーション重視の活動を一層充実するために、**コミュニケーション活動・国際理解教育のための活動を活発にし、外国語指導助手(ALT)との効果的なティームティーチングのあり方について研究する。

(9) 家庭

ア **生徒の学習意欲を高め、主体的に生活課題を解決できる能力や態度を育てるために、**生徒の実態を的確に把握し、実験・実習や生活体験などを重視した指導計画を立て、教材・教具の開発や指導法、評価のあり方について研究する。

イ **家庭科の学習を生かして、家庭や地域の一員として、生活の充実向上を図る能力や態度を育てるために、**「家庭基礎」「家庭総合」「生活技術」の3科目において、「ホームプロジェクト

ト」や「学校家庭クラブ活動」について、指導のあり方を研究する。

(10) 情報

ア **学習効果を高めるために**、社会の情報化の進展やIT技術の動向に注意を払うとともに、中学校での学習をふまえて、生徒の実態を的確に把握し、コンピュータや情報通信ネットワークなどを活用した実習を積極的に取り入れた指導計画を立て、教材・実習課題の開発や指導法、評価のあり方について研究する。

イ **特色ある情報教育を進めるために**、高度情報社会の著しい変化に対して、情報教育のあり方について検討を重ね、情報モラルの育成を図るとともに、他教科と密接な調整をとることにより、各教科内容について有機的な連携を図り、生徒の主体的な学習意欲を高めるための指導法について研究する。

(11) 工業

ア **学習効果を高めるために**、各学科の目標に基づき、専門科目の基礎的・基本的な事項について具体的な重点を設定し、生徒の実態に即した教育内容の研究を進めるとともに、各種検定・職業資格の取得を推進するなど、主体的な学習意欲を高める指導法について研究する。

イ **特色ある工業教育を進めるために**、社会の変化や産業の動向などに適切に対応するとともに、実験・実習を重視し、各科目の知識と技術を有機的に関連させて、環境にも配慮した実際の・体験的な学習の指導法について研究する。

ウ **工業高校における安全教育を進めるために**、安全についての理解と認識を深めるとともに、実験・実習における事故防止の指導を徹底し、学習内容と関連させた具体的な指導法について研究する。

(12) 商業

ア **学習効果を高めるために**、商業の各分野に関する基礎的・基本的な内容と実践的・体験的な学習を重視しつつ、各科目との有機的な連携を図り、教材の精選を具体的に進めるとともに、生徒の主体的な学習意欲を高めるための指導法について研究する。

イ **特色ある商業教育を進めるために**、経済社会の変化に対応したビジネス教育のあり方について検討を重ねるとともに、各校の伝統と地域性を生かした教育内容の充実について研究する。

(13) 福祉

ア **社会福祉に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させるために**、実習・調査・研究などを多く取り入れ、総合的・体験的に習得させるための指導計画について研究する。

イ **社会福祉の増進に寄与する能力や態度を育てるために**、生活の中でどのように社会福祉や社会保障が関連しているかを学ばせ、自立活動を支援する望ましい態度をはぐくむ指導法について研究する。

(14) 特別活動

- ア **教師と生徒との共感的理解を基調としたホームルーム活動の指導を展開するために**、生徒の自主的な問題解決の場であり、生徒間の望ましい人間関係が育成され、教師と生徒との心のつながる場でもあるホームルーム活動をどのように充実すればよいかについて研究する。
- イ **学校生活を豊かにする生徒会活動の一層の活性化を図るために**、生徒会活動を通し、集団や社会の一員としての自覚を深めるとともに、自己を生かす能力を養い、民主的ルールに基づいて、自発的、自主的な活動を展開できる内容と方法について研究する。
- ウ **学校行事の教育効果を高めるために**、各種の学校行事の精選に努めるとともに、そのねらいを達成するための内容と方法について研究する。

(15) 総合的な学習の時間

- ア **自ら問題を解決していく資質や能力を育て、自己の在り方生き方を考えることができるようにするために**、地域や学校の特色、生徒の特性等に応じ、横断的・総合的な課題（例えば、人権、平和、国際理解、情報、環境、福祉・健康など）に取り組んだり、生徒の興味・関心や進路などに応じて設定した課題について知識や技能の深化・総合化を図ったりするなど、創意工夫を生かした学習活動が展開できるよう研究する。
- イ **生徒の学習意欲をより高め、主体的な学習態度を育てるために**、体験的な学習や問題解決的な学習の積極的な導入、グループ学習や個人研究などの多様な学習形態の工夫、地域の人々の協力を得た指導体制の工夫、地域の教材や学習環境の積極的な活用などについて研究する。

(16) 生活指導

- ア **生徒との信頼関係を深め、生徒指導を充実し、全校的な指導体制を機能化するために**、中学校・高等学校・特別支援学校の連携を深めるとともに情報交換を密にして、生徒の実態の把握に努め、全校的な共通理解を得るための方法について研究する。
- イ **自主と自律の精神を向上させ、高校生活に充実感を抱かせるために**、自己の在り方生き方について考え、自発的・積極的に自己を表現しようとする意欲を向上させるよう、集団育成・個別指導のあり方について研究する。
- ウ **人間尊重を基盤とした共同生活において望ましい能力と態度を養うために**、民主的な社会の形成者としての自覚と責任感の向上を図るよう、教育活動全体を通してあらゆる場で指導する方法のあり方について研究する。とりわけ、人間尊重の教育を一層推進する観点から、「中途退学」の問題、「いじめ」「長期欠席」など、生活指導上の諸問題の効果的な指導のあり方について研究する。
- エ **生徒の経験を広め、社会性を養い、好ましい人間関係を育てるために**、学校の教育活動全体を通して、共に育ち共に学びあう交流を進めるには、どのような配慮や場が効果的であるかを研究する。

(17) 学校図書館教育

- ア **図書館を利用し、その機能を活用する能力を育成するために、各教科・科目や生徒の実態に即し、計画的・系統的に図書館の機能を活用する指導法について研究する。**
- イ **図書館の利用を通して、自ら学ぶ意欲と態度を育てる指導を展開するために、読書の意義を理解させ、読書への関心を高めるとともに、各種の資料を整備して、その活用を図る能力を育成する指導法について研究する。**

(18) 視聴覚教育

- ア **学習効果を高めるために、視聴覚教材及びそれに関連する教育機器について、新しい知識を広め、各教科・科目の教材開発に努めるとともに、より効果的な活用方法について研究する。**

(19) 進路指導

- ア **一人一人の生徒を生かす進路指導のために、進路指導の各活動分野について、各学年別に年間の進路指導計画を確立し、学校の全教育活動を通して、生徒が自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、ホームルームなどを基盤とした進路指導のあり方について研究する。**
- イ **進路指導の校内体制を確立するために、キャリア教育を学校の全教育活動に位置付け、全ての教職員が、キャリア教育の意義や必要性についての共通理解を深め、学校全体の組織的・計画的・継続的な進路指導体制の確立とガイダンス機能の充実について研究する。**
- ウ **学校・家庭・地域社会及び関係諸機関の連携を強化するために、中学校・大学・各種研究会や家庭・地域社会及び公共職業安定所などとの連携の方法・内容などについて研究する。**

(20) 定時制教育

- ア **定時制高等学校の生徒の実態に即応した教育の内容と方法を確立するために、ますます多様化しつつある生徒の生活実態に即して、一人一人が学ぶ楽しさを知り、かつ学習する態度と方法を身に付け、生涯を通して学習していく基盤となる知識や技術を深めるよう、学習指導の内容と方法について研究する。**
- イ **定時制高等学校の生徒の実態に即応した生活指導をするために、生徒の生活実態や健康管理に留意し、生徒の学習意欲を高め、有意義な学校生活を送りながら、共に支え合う集団を育成し、豊かな人間性を育てるための指導のあり方について研究する。**

◇ 特別支援学校

(1) 教科・領域及び総合的な学習の時間

各学部においては、幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教科・領域及び総合的な学習の時間などの研究目標を参考として研究する。

(2) 自立活動及びその他

ア 幼児・児童・生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために、一人一人のニーズに応じた自立活動の指導を進めるうえで、適切な内容や方法について研究する。

イ 幼児・児童・生徒の可能性を伸ばすために、一人一人のニーズを的確に把握し、「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」などに基づき、指導・支援の充実に向けて研究する。

ウ 幼児・児童・生徒の経験を広め、社会性を養い、好ましい人間関係を育てるために、地域社会などとの連携を深めるとともに、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校相互の連携を図り、交流を進めるうえでの内容や方法、校内体制のあり方について研究する。

エ 特別支援教育のセンターとしての機能を充実させるために、専門性を生かした幼稚園・小学校・中学校・高等学校への支援や、教育相談のあり方、教材、指導方法について研究する。

オ 自立に向け、自らの生き方を選択する力を育成するために、進路先や関係諸機関との連携を図り一人一人の生徒に応じた進路指導や職業教育の充実に向けて研究する。